

近日発売
900円

志位議長が語ったオンラインセミナー

Q&A 共産主義と自由

魅力と新しい解明あふれる

建物維持の責任を果たしていたのか

日隈市議は6月17日、天瀬憩の家の建物調査を質問し、「市は建物維持の責任を果たしていたのか」と追及。部長は「構造部分の改修をすれば（工事費が）高額になる」と答えました。

日隈市議は、市が昨年9月に行った天瀬憩の家の建物調査を質問。福祉保健部長は「屋根の雨漏り、外壁・内部の劣化、柱や梁の劣化などを確認。建築後40年以上経過し、一部構造体が危険な状態。旧耐震構造の建物であり、現行の耐震基準を満たしていない。耐震を含めた改修工事をしなければ、安全性が保障できない」と答えました。

日隈市議は「住民の代表が、2千5百筆を超える署名をもって存続を求めた。しかし、市長は6月議会に廃止を提案している」と追及。市長は「昨年調査したところ（存続は）難しい。施設を廃止させていただく」と答えました。

日隈市議は、憩の家廃止後の代替案として市が提案している温泉施設利用事業を質問。福祉保健部長は「天瀬憩の家を日常的に利用されていた方に事前に登録していただき、現在と同額の料金で近隣の温泉施設を利用できる温泉回数券を販売する」と説明しました。



▲ 天瀬憩の家の存続を求めて市長に質問する日隈市議（写真左端、6月17日）

天瀬憩の家の廃止をただす

6月議会
一般質問

市臨時職員の給与改善を求める

総務省通知とおりの給与引き上げをしていない

日隈市議は6月17日、会計年度任用職員（臨時職員）について、
昨年の総務省の通知どおり給与を引き上げよう求めました。

日隈市議は、市の会計年度任用職員の人数と職員全体に占める割合を質問。総務企画部長は

「通年雇用の会計年度任用職員は268人で、職員全体の29.8%」と答えました。

日隈市議は「総務省は昨年5月と10月、会計年度任用職員の給与について、常勤職員の給与改定の取り扱いに準じて、昨年4月にさかのぼって給与改定することを基本とする」と指摘し、

市の対応を質問。総務企画部長は「県内他市の状況を確認し、昨年4月にさかのぼって給与引き上げ（実施を見送っている）」と答えました。

昨年11月の参議院総務委員会

で鈴木総務大臣は「本年度の地方公務員の給与改定については、会計年度任用職員の遡及改定も含めて所要額を見込んでおります」と答えています。

日隈市議は、会計年度任用職員の遡及改定も含めた地方交付税の増額について質問。総務企画部長は「8619万1千円の増額交付があった。会計年度任用職員にかかる交付税措置額などは示されていない」と答弁。

日隈市議は「国から市にお金が入っているけれど、それは別に使う。それで良いのか」と追及し、会計年度任用職員の給与を昨年4月にさかのぼって引き上げよう求めました。



▶ 昨年4月にさかのぼって臨時職員の給与を引き上げよう求める日隈市議（6月17日）